

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	農山漁村景観保存小委員会	主 査 名：神吉紀世子 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的景観の保存・形成計画の先行事例を検証する。 ・ 文化的景観モデル事業等を取材調査できる委員構成を(公募を通じ)整備する。 ・ 検証の視点を委員会で議論し、各委員が取材調査・資料収集等を分担する 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 神吉紀世子(京都大学・主査) 小浦久子(大阪大学・幹事) 宮川智子(和歌山大学・幹事) 工藤和美(明石工業高等専門学校) 平田隆行(和歌山大学) 福島綾子(九州大学) 中尾史郎(京都府立大学) 熊野稔(徳山工業高等専門学校) 植田暁((有)風の記憶工場) 川口友子(神戸大学篠山フィールドステーション)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2007 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の研究の対象地(重要文化的景観の指定準備中の地区)の担当行政および地元団体との意見交流の機会をもつことができた。 2. 2008 年度大会での OS、PD を主催することを決定、委員会成果をいかした資料集の作成に着手した。 3. ホームページの開設は当初より遅れたものの、文化的景観のポータルサイトとして開設することとなり、2 月現在作業中である。準備でき次第本委員会の HP (http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/) にリンクする予定である。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年度内に委員会の成果を対外発表する機会を調整できなかったが、HP および大会研究集会を充実させることで対応したい。 2. 委員の費用負担を軽減するための助成金等への応募を引き続き努力する。